

令和4年度 本業市市民活動助成金申請一覧

単位:円

コース	番号	事業名	団体名 代表者	事業内容	事業費総額	申請額	交付 決定額	交付 確定額
市民活動ステップアップコース	1	糸貫川 Re Born プロジェクト (4回目/5回)	糸貫川流域発展会 加納 健次	※新型コロナウイルスの影響により活動中止。	167,600 (0)	93,000 (0)	93,000 (0)	0
	2	相撲体験プロジェクト (5回目/5回)	本業市相撲連盟 堀 次郎	※新型コロナウイルスの影響により活動中止。	232,000 (0)	116,000 (0)	116,000 (0)	0
	3	はぐくむMARKTプロジェクト (4回目/5回)	アトリエフェリス 柴田典香	「はぐくむ」をテーマに食育、木育、アート、音楽等、生涯教育に関わる人々が連携して地域に貢献できる活動を目指し、「マルクトフェスティバル」を、4月にかがやきドームで開催した。	620,000 (618,836)	200,000	200,000	200,000
	4	本業市を活性化！ アウトドアチャレンジ事業 (4回目/5回)	文殊山の会 山本 幸雄	市北部地域において進む過疎化、少子化に対して、地域の自然環境を活かしたアウトドアスポーツを体験してもらうことで、観光客や移住者の増加を目指す。3月に美濃國・山城トレイル100を他団体とともに開催した。	250,000 (178,900)	120,000 (105,000)	120,000 (105,000)	105,000
	5	新たな魅力発掘事業 (3回目/5回)	もんじゅCHIEくらぶ 村瀬 幸一	地域資源を有効活用して新たな魅力を発掘し、体験型プログラムを提供しながら、賑わい創出を図る。樽見鉄道と連携してミニSLを走らせたり、席田用水の美化活動の実施、外山地域でのハナモモの植栽、北方真桑駅での定期音楽会を実施した。	280,200 (259,525)	179,000 (140,000)	179,000 (140,000)	140,000
	6	福祉有償運送事業 (3回目/5回)	リフレもとす 三宅 巴千代	障がい者、高齢者等、外出に困難を生じる人々の、外出に関する活動をサポートすることにより、地域福祉に貢献することを目的とする。 新型コロナウイルスが流行する中で、感染防止対策を徹底し、運行事業を継続し、延べ140人の利用があった。	251,455 (267,211)	65,000	65,000	65,000
	7	備えて安心！「乾・缶・簡料理®」 バッククッキング体験 (1回目/5回)	Sonaeもとす 馬場 美穂	「いつものおいしいが「もしも」の備えとなる備え食の普及と「乾・缶・簡料理®」バッククッキングの普及と自動力の啓発、市民の命と健康、子どもたちの心を守る“備え人”の育成を目指す。根尾地域(5月)、本業地域(7月)、真正地域(9月)の市内3か所でのバッククッキング体験を開催した。	443,750 (360,012)	200,000	200,000	200,000
市民活動フォローアップコース	1	外山地域活性化事業 (4回目/5回)	外山地域街づくり委員会 後藤 寿太郎	外山地域にある豊かな自然を活用して、ウオーク大会など様々な行事を開催することで、地域住民と都市部住民との交流を深め更なる地域活性化を図る。空き家講演会(6月)、押し木講習会(6月)、歴史探訪ツアー(7月)、ウオーキング大会(10月)、とやま通信発行(2月)、雅楽部会(年間)を実施した。	609,200 (799,789)	122,000	122,000	122,000
	2	歴史講演会 (2回目/5回)	本業市歴史研究会 青木 輝泰	歴史を通じて地域を再認識し、まちづくりに参加するきっかけとする。モレラ岐阜会議室にて、4月「古田織部」、5月「明智三代」、7月「楠木正成(上)」、9月「淡墨桜と継体天皇」、10月「楠木正成(下)」、1月「織田三代・斎藤三代」を講演した。	456,640 (459,672)	82,000	82,000	82,000
ト実施コース	1	もとすを元気に！スマイルフェス	スマイルエンジェルズ 羽田しのぶ	2022年に結成10周年を迎え、チアダンスを通じて子どもたちの健康増進や本業を盛り上げることを目指す。「もとすを元気に！スマイル・フェス」を開催(10/8)し、賑わい創出、チアダンスの楽しさを発信した。	518,000 (546,607)	500,000	500,000	500,000
市提示事業協働実施	1	小さな拠点事業 (関係人口創出事業)	(一社)よだか総合研究所 中原 淳	空き公共施設を活用して整備したGIDS(読み方:ギッズ)にて、デザイナーなどに滞在場所と作品制作への支援金を提供する「滞在デザイナー制度」を核にして、外部人材との交流を増やししながら、新たなビジネスやプロダクトを生み育てて、地域経済の円滑な循環を促していく。1名の滞在デザイナーを招聘し、ワークショップ(5回)を開催。特に、県博物館で10月に開催した「ねお展」では、3,000人を超える来場者があった。	720,000 (704,378)	600,000	600,000	600,000
	2	小さな拠点事業 (ねおとやまオープンヴィレッジ事業)	NEOTOYAMA 田淵 琢真	空き家をリノベーションして整備したcouch(読み方:カウチ)にて、自然環境を活かして、食や各種体験をテーマにした交流イベントを開催することで、地域の魅力を内外に発信し、新たな人の流れをつくっていく。コロナの感染リスク軽減するため、屋外での庭造りをメインにしたワークショップを4回実施し、移住希望とは違った方の参加によって新たな交流が生まれた。	608,762 (617,211)	600,000	600,000	600,000
	3	市民活動推進拠点 「まわる市民協働」運営事業	サポートセンター運営チーム 中原 淳	協働によるまちづくりを推進するために、市民と市民、市民と行政が活発に交流できる場を提供し、市民活動に関する様々な情報を収集・発信して、市民活動を促進していく拠点「まわる市民協働」を運営する。コロナ禍で活動の制限がある中、オンラインを活用し、計13回のワークショップ・勉強会の開催や、社会プロジェクト相談窓口の常時開設、紙媒体による広報など、支援の機会創出に取り組んだ。	2,800,000 (2,800,366)	2,800,000	2,800,000	2,800,000
	4	まくわり普及プロジェクト	まくわりひろめ隊 広瀬 大和	飛騨美濃伝統野菜である「まくわり」を市の魅力の一つとして発信し、市の特産品としての活用を広く、将来的には地域での産業化を目指す。まくわり収穫体験ワークショップ(8月)、まくわり絵本の寄贈、まくわりを使った中華麺やシャーベットの開発・販売などを実施し、継続的な情報発信も実施した。	360,000 (363,359)	360,000	360,000	360,000
	5	地域猫活動支援事業	岐阜ねこネコリハTNTA部もとニャン隊 後藤 三恵	TNR及びTNTAを実施することで、「飼い主のいない猫」の増加、それに伴う苦情などを少しでも減らし新しい共存の形作りを目指す。 令和4年度実績 TNR及び保護頭数:114匹	300,000 (587,498)	300,000	300,000	300,000

※上記1、2、3、5については、別事業の予算で実施する。

()内は実績。

令和5年3月31日現在